

2025年度

S A

小 論 文

3月12日(水)

人 文 社 会 科 学 部 (社会学科)

10 : 00 ~ 11 : 30

【後 期 日 程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(3枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、4ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(1枚(表裏))を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点及び括弧等は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」等はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

問題訂正

記号 SA

教科 小論文

※次のとおり，問題を訂正します。

○ 問題 の文章中 2 ページ の 9 行目

(正)

・
・
・
意味なので、
ホメオスタシスを
・
・

(誤)

・
・
・
意味なので、
ホメスタシスを
・
・
・

著作権の関係上、公表しません。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、 公表しません。

〔芳賀繁〕事故がなくならない理由——安全対策の落とし穴』PHP新書、二〇一二年刊　なお出題にあたり、原文にあった出典を削除し、「スキッド訓練」について独自の注釈を加えた）

（注二）…スキッド訓練とは、自動車やバイクの運転技術を向上させるためのトレーニングで、特にスリップや横滑りなどの危険な状況に対処する技術についての訓練のこと。

問一　自分の身近で見聞したりリスク補償行動を例示し、それがリスク補償行動であることを本文の内容に沿って二〇〇字以内で説明しなさい。（配点三〇％）

問二　近年、富士山への軽装登山や弾丸登山による事故が多発しているが、その対策として登山道や山小屋の整備を行うとどのような結果になることが予測されるか本文に沿って述べ、あなたが有効だと考える対策について六〇〇字以内で述べなさい。（配点七〇％）

著作権の関係上、公表しません。

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文（後期日程試験：令和7年度） 1 / 1	問題番号	SA
対 象 学 部 ・ 学科(課程)等	人文社会科学部（社会学科）		
出題のねらい	課題文は、事故・病気・失敗などのリスクを減らすはずの訓練や対策が、結果としてそのリスクを下げられていない点について、「リスク補償行動」や「リスクホメオスタシス理論」を基に説明している。「リスク補償行動」については、その定義を述べた後、複数の具体例を挙げて理解を促している。また、「リスクホメオスタシス理論」の説明から、リスク目標水準を変更するような対策でない限り、安全対策は長期的には効果がないことが述べられている。課題文に出てくる定義と具体例を正しく結び付けて理解する読解力と、身近にある同様の現象を捉えて説明する力、またそれに対する自分の考えを論理的に表現する力を問うことをねらいとする。 問1では、身近にある「リスク補償行動」の例示をさせることで、課題文の定義についての理解度と説明する文章能力を問う。 問2では、ありがちな安全対策の結果の予測をさせることで、課題文で説明されている「リスクホメオスタシス理論」や「リスク目標水準」について正しく理解できているかを問い、代案の「有効と考えられる対策」を記述させることで論理的な思考能力や表現能力を問う。		
採 点 基 準	問1 配点30%（60点） ① 身近な具体的な行動についての記述があること。 ② 課題文の定義（低下したリスクを埋め合わせるように行動が変化し元のリスク水準に戻す）にそって具体的な行動の説明をしていること。 ③ 文章全体に整合性があること。 ④ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。 問2 配点70%（140点） ① 登山道や山小屋の整備という対策が長期的には効果がない点についてリスクホメオスタシス理論やリスク目標水準の観点から説明できていること。 ② 例示された対策がリスク目標水準を変える対策になっていること。 ③ 代案として考えた対策の有効性について論理的に説明できていること。 ④ 文章全体に整合性があること。 ⑤ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。		